

平成 29 年 度

施 政 方 針

宇治市長 山 本 正

# 目 次

1. はじめに	1
2. 平成29年度予算編成の基本的な考え方について	3
3. 重点的取組について	
(1) 安全・安心なまちづくりの推進	3
(2) 市民参画・協働の推進	4
(3) 誰もが生き生きと暮らせるまちづくりの推進	5
(4) 切れ目のない総合的な子育て支援	8
(5) 未来の宇治のまちの発展と 人口減少社会を見据えた都市基盤整備	10
(6) 公共施設等アセットマネジメントの推進	11
(7) 行財政改革の推進	12
(8) 人口減少に歯止めをかける地方創生の推進	12
4. 各分野の主要な取組について	
(1) 商工業の振興・地域経済の活性化について	14
(2) お茶と歴史・文化の香るまちづくりについて	14
(3) 地球環境対策の推進について	15
(4) 人権尊重の社会づくりについて	15
(5) 組織機構の見直しと人材育成について	15
5. おわりに	16

## 1. はじめに

本日、平成29年3月宇治市議会定例会を招集させていただきましたところ、議員各位におかれましては、ご多忙の中にも関わりませず、ご参集を賜り、厚く御礼を申し上げます。

平成29年度予算をはじめ諸議案をご提案申し上げ、ご審議をお願いするにあたりまして、市政運営に臨みます私の所信を述べさせていただきます、議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は、昨年12月の市長選挙におきまして、市民の皆様からご信託をいただき、第18代宇治市長として引き続き市政を担わせていただくことになりました。就任後2か月が経ち、改めて、市政の舵取り役の重責を痛感しているところでございます。

2期目につきましても、これまでの経験と実績をもとに、初心を忘れることなく、「さらに市民の力の結集で、新しい宇治市を！」を基本姿勢に、マニフェストに掲げました「命を守り、人を大切にする施策」の実現に向け、市民の皆様と協働し、市民最優先・オール宇治体制・現地現場主義・市民参画協働で全力を傾注して参る所存でございます。

さて、我が国の経済状況でございますが、本年1月の月例経済報告では、「景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」とされ、2か月連続で据え置かれました。

このような中、政府は、政策の基本的態度として、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現していくため、「経済財政運営と改革の基本方針2016」、「まち・ひと・しごと創生基本方針2016」、「ニッポン一億総活躍プラン」などを着実に実行し、好調な企業収益を、投資の増加や賃上げ・雇用環境のさらなる改善等につなげ、地域や中小・小規模事業者も含めた経済の好循環のさらなる拡大を実現するとされていますものの、未だ本市において回復の実感がない中小企業や個人が存在している事から、今後こうした国の動向を注視していく必要があります。

次に、本市の財政状況でございますが、平成27年度普通会計の決算では、歳入の要である市税収入の割合が38.4%となったことなどにより、歳入全体に占める自主財源の割合は48.4%となり、3年連続で50%を下回りました。

一方、歳出につきましては、社会保障関係経費である扶助費が、過去最大の約177億円となったことなど、人件費や扶助費などからなる義務的経費は引き続き増加傾向となっています。

これらの要因により、本市の財政の弾力性を示す経常収支比率は、前年度から1.1ポイント増の94.8%となり、依然として、90%を超える高い水準で推移し、財政の硬直化は確実に進行している状況です。

今回ご提案申し上げます平成29年度予算におきましては、法人市民税の影響等により、約3億円の減収を見込んでいることなどから、歳入に占める市税の割合は36.8%となっており、6年連続で40%を下回ることが見込まれます。この間、国・京都府の補助金の制度改革などの動向を注視するとともに、有料広告事業やふるさと納税による独自財源を最大限活用し、歳入確保に取り組んでおりますが、先ほど申し上げたとおり、歳入に占める市税の割合が低下しており、この間の財源確保が厳しい状況を示しています。

また、市債現在高は、約456億円を見込んでおりますが、財政見通しの範囲において、将来世代に過大な負担を残すことのないよう、市債発行の精査に努めて参ります。

このような厳しい財政状況ではございますが、限られた財源を有効に活用して「選択と集中」を図り、市民の皆様にお約束申し上げた施策の実現に向けて、積極的に対応して参りたいと考えているところでございます。

## 2. 平成29年度予算編成の基本的な考え方について

平成29年度予算は、第5次総合計画の第2期中期計画の最終年度であるため、これに掲げる重要施策の具現化を目指すとともに、平成30年度からの4年間を計画期間とする第3期中期計画を策定し、目指す都市像である「みどりゆたかな住みたい、住んでよかった都市」、まちづくりの目標である「お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治」の構築に向けて、本市の特色を活かした取組を進めて参ります。

これらの取組の実現に向けまして、「安全・安心なまちづくりの推進」、「市民参画・協働の推進」、「誰もが生き生きと暮らせるまちづくりの推進」、「切れ目のない総合的な子育て支援」、「未来の宇治のまちの発展と人口減少社会を見据えた都市基盤整備」、「公共施設等アセットマネジメントの推進」、「行財政改革の推進」、「人口減少に歯止めをかける地方創生の推進」の8つの項目を重点的取組として位置付け、市民の皆様にお約束申し上げた施策の実現に向けて、「さらに市民の力の結集で、未来に夢と希望の持てる新しい宇治づくりを目指した積極型の予算」を編成いたしました。

それでは、重点的取組を実現するための、平成29年度予算における具体的な事業展開につきまして、平成28年度の補正予算による前倒し実施分も含め、重点的取組ごとにご説明申し上げます。

## 3. 重点的取組について

### (1) 安全・安心なまちづくりの推進

「安全・安心なまちづくりの推進」に関する施策でございます。

平成24年に発生いたしました京都府南部地域豪雨及び平成25年の台風18号災害で得た数々の教訓を強く心に刻み、風化させることなく、これからの防災への取組に生かしていくことが重要であると考えています。

ハード面では、京都府が進められております一級河川改修事業並びに砂防事業の早期完成に向けまして、引き続き京都府と連携を図り、取り組んで参りますとともに、木幡池周辺地域の浸水対策につきましては、国、京都府との連携のもと、早期の対策事業の実施に向けた取組を進めて参ります。

また、西宇治地域におきましては、平成26年度から本格実施いたしました公共下水道（洛南処理区）雨水施設整備事業によりまして、平成29年度は、

西宇治中学校での雨水地下貯留施設の整備を進めて参りますとともに伊勢田小学校での雨水地下貯留施設の整備や排水路の改修などを計画的に取り組んで参ります。

さらに、地域防災力の向上に向け、自主防災リーダーを増員し、あわせて継続的な活動支援を行うとともに、災害時の対応力強化を目指し分散備蓄化を進めるため、引き続き全小学校への防災倉庫の設置を実施して参ります。

加えて、地域防災計画につきましては、平成28年熊本地震を踏まえた見直しを行うとともに、自主防災組織の運営についても、自主防災組織育成事業を推進し、さらなる自主防災組織の育成・継続支援に努めて参ります。

また、減災を目指す観点から、平成28年度に改訂いたしました宇治市建築物耐震改修促進計画に基づき、市内の建築物の耐震化を促進するとともに、市有建築物の耐震改修を計画的に進めて参りますほか、各地で頻発する土砂災害を受けて土砂災害特別警戒区域内の既存建築物改修に必要な費用の支援を実施して参ります。さらに、東宇治地域の防災拠点として位置付けている黄檗公園の防災機能の向上を目指した体育館の耐震改修工事等を着実に進めるなど、ソフト・ハード両面から、災害に強い安全・安心の宇治づくりを推進して参ります。

そのほか、各小学校区における安全管理団体の活動を支援するとともに、市民と行政・警察が連携して防犯推進活動を行って参ります。

また、消防・救急につきましては、西消防署のはしご車を更新整備し中高層建物災害への対応能力の向上を目指すとともに、緊急消防援助隊に登録を行う指揮支援車を新規購入するほか、近年増加傾向が続く救急需要や、高度化する救急救命処置に対応できる高規格救急車1台を更新整備し、消防力のさらなる強化を図って参ります。

## **(2) 市民参画・協働の推進**

「市民参画・協働の推進」に関する施策でございます。

市民参画・協働の市政を進めるためには、様々なコミュニティ活動の果たす役割は大変重要であると考えております。特に防犯や防災、地域福祉などの分野において、町内会・自治会をはじめとする地域コミュニティへの期待は年々高まっています。

一方で、少子高齢社会の進展や住民意識の変化などにより、コミュニティに課題を抱えている地域も少なくないことから、宇治市地域コミュニティ推進検

討委員会からの提言を踏まえながら、自助・互助・共助・公助のあり方を念頭において、地域コミュニティの活性化に向けた研究を進めるとともに、地域人材の育成を図る取組を実施するなど、市民参画・協働に資する施策の充実に向けて取り組んで参ります。

また、「市民と市長の対話ミーティング」につきましては、これまでの対話ミーティングを通じて、直接いただいた市民意見を反映して、具体的に実現した施策もございますことから、ミーティングの形態や市民の皆様からのご意見をお聴きする手法等についても検討を行う中で、引き続き実施をして参ります。

さらに、「宇治市まちづくり・景観条例」に基づく、まちづくりへの市民参画・協働を進める中で、白川区まちづくり協議会と協働した白川浜山本線における安全で安心な道づくりを実施するなど、「市民参画・協働による新しい宇治市」を目指して取り組んで参ります。

### **(3) 誰もが生き生きと暮らせるまちづくりの推進**

「誰もが生き生きと暮らせるまちづくりの推進」に関する施策でございます。

#### **(社会福祉施策について)**

生活困窮者自立支援制度につきましては、生活困窮者の自立に向けた支援のための相談窓口を設置し、個々の状況に応じて、関係機関等との連携を図り、包括的な支援ができるよう、引き続き、取り組んで参ります。また、新たに生活困窮世帯等の子どもの学習支援事業について、早期の実施に向け取り組んで参ります。

#### **(障害者施策について)**

障害者施策につきましては、障害者の日常生活や社会生活を総合的に支援するため、「第2期宇治市障害者福祉基本計画」並びに「第4期宇治市障害福祉計画」に基づき、各種施策を計画的に推進して参ります。

なかでも、障害者雇用の取組をさらに進めていく中で、一般就労へ移行するための基盤整備を図って参りますとともに、障害のある方が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう様々な支援を切れ目なく提供できる拠点として、宇治蔭山地内に就労アドバイザーを活用した就労移行支援施設とあわせまして、体験入居が可能なグループホーム、緊急受入れが可能なショートステイ、24時間の相談支援などの総合的支援が可能な地域生活支援拠点を、平成30年度に開設できるよう整備を進めて参ります。

また、聴覚障害のある方及び視覚障害のある方の情報支援を行う人材の育成や手話言語条例の制定を検討して参ります。

なお、療育手帳Bをお持ちの方に対する医療費助成につきましては、請願を出された方々の切実な思い、議会の全会一致で採択されました経過を真摯に受け止め、実施して参ります。

#### **(保健施策について)**

健康づくりの推進につきましては、健康長寿日本一の実現に向けて「宇治市健康づくり・食育推進計画」に基づき、市民の皆様のライフステージに応じた総合的な健康づくりや食育の取組を推進するとともに、私を先頭とする全市的な推進体制のもと、関係機関や関係団体、企業等と連携し、取組を具体的に進めて参ります。

母子保健につきましては、妊婦健康診査への助成をはじめ、乳幼児に対する各種健康診査や予防接種、保健指導などを実施する中で、子どもたちの健やかな成長を支援するとともに、発達障害の早期発見・早期療育に努めて参ります。

また、健康長寿の出発点である妊娠期からの健康づくりを推進するため、妊娠期の歯周病予防に向け、一人でも多くの方に受診していただけるよう、新たに妊婦の歯科健診への助成を実施して参ります。

がんの早期発見・早期治療に対応するため、前立腺がん検診をはじめ、各種がん検診を引き続き実施するとともに、地域に出向いての健康教室・相談活動や無料クーポン券の配付、受診勧奨等により、受診率の向上に努めて参ります。

また、口腔機能低下による誤嚥性肺炎や、生活習慣病などの予防を図るため、後期高齢者の歯科健診に対する助成を実施いたしますとともに、人間ドック補助の受診定員を拡大して参ります。

国民健康保険におきましては、人間ドック及び脳ドック補助の受診定員を拡大するとともに、特定健康診査や特定保健指導の受診率向上に向けた取組はもとより、加入者に対する健康づくりの一層の推進を図るため、平成30年度より、医療費の適正化等に積極的に取り組む保険者を、財政的に支援する仕組みである保険者努力支援制度が導入されることを踏まえ、その積極的な活用を念頭に実施体制を整備して参ります。

#### **(高齢者の生きがいづくり等施策について)**

高齢者福祉施策につきましては、平成30年度からの「宇治市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」の策定に取り組み、引き続き、施策の充実を図って参ります。



地域包括ケアシステムの構築につきましては、地域包括支援センターが中軸となって、地域のネットワークづくりに取り組むとともに、団塊の世代が75歳以上となる2025年（平成37年）を見据え、日常生活圏域など地域包括支援センターの増設について、引き続き、具体的な検討を進めて参ります。

さらに、平成30年度からの在宅医療と介護の連携推進事業の地域支援事業化に向け、宇治久世医師会、宇治久世歯科医師会、城南薬剤師会など一層の連携に努め、適切な医療・介護サービス提供体制の充実とともに、最期まで自分らしく生きられるよう、看取りも見据えた仕組みづくりに取り組んで参ります。

生きがい・社会参画につきましては、高齢者日常生活支援事業を拡充した「団体立ち上げ支援」の活用により、町内会・自治会等が自ら主体的に助け合い・支えあう住民主体の生活支援サービスの仕組みづくりを、引き続き、支援して参ります。

#### （介護予防施策、介護保険事業について）

平成29年4月より本市におきましても介護予防・日常生活支援総合事業を開始し、現行サービスの移行とともに、新たな住民主体の訪問型、通所型サービスを開始して参ります。

また、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制整備に向けた取組や多様なサービス提供主体間の情報共有及び連携・協働による資源開発を推進するため、新たに生活支援コーディネーター及び関係団体等による「（仮称）地域の支え合い仕組みづくり会議」を設置して参ります。

さらに、介護予防の各教室は、介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴い、一次、二次の区分のない一般介護予防事業に移行し、高齢者の生活機能の低下を防止し、できる限り介護が必要な状態とならないよう、様々な状態に応じた各種教室を実施して参ります。

「認知症の人にやさしいまち うじ」の取組である認知症総合地域支援事業につきましては、引き続き、支援体制の強化を図るため、認知症コーディネーターの配置を行い、認知症初期集中支援チームの質的充実を図るとともに、予防教室としての脳活性化教室や認知症対応型カフェなどの取組を進め、より良い生活環境を維持していくためのケア体制の構築を図って参ります。

また、認知症総合センターにつきましては、開設に向けて、認知症の当事者・家族を含む関係者、整備予定法人、京都府等と取組を進めて参ります。

さらに、宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど」の活動に、引き続き取り組み、認知症の正しい理解を、より一層多くの市民に広めるための

様々な取組や、企業・事業所等への働きかけを強化して参ります。

次に、「介護保険事業」につきましては、高齢者の介護を社会全体で支えるという制度の趣旨を踏まえた適切な運営に努めて参ります。また、たとえ介護が必要な状態になっても、尊厳を保持し、できるだけ住み慣れた地域で暮らしていけるよう地域密着型サービスを中心に整備を進め、あわせて居宅サービスの基盤整備にも、引き続き、取り組んで参ります。

#### (4) 切れ目のない総合的な子育て支援

「切れ目のない総合的な子育て支援」に関する施策でございます。

まちの宝である子どもを育み、育てるため、子ども・子育てファーストの視点で、「宇治市子ども・子育て支援事業計画」や「宇治市教育振興基本計画」に基づき、家庭、地域、保育所、認定こども園、幼稚園、小・中学校の連携を深め、教育・福祉が一体となって、子どもの健やかな成長への支援や、誰もが安心して学べる学校教育環境の充実など、切れ目のない総合的な子育て支援に取り組んで参ります。

#### (福祉に関する施策について)

保育所の待機児童対策につきましては、本市の喫緊の課題として取り組み、保育所の新設及び増改築や家庭的保育、小規模保育の実施などに取り組んでおり、4月時点では、4年連続で国定義後の待機児童数が0人となったところでございます。しかしながら、保育ニーズは依然として高まっていることから、待機児童対策は本市の重要課題と位置付けております。

このため、現在、本市3カ所目となる小規模保育事業の実施に向け取り組むとともに、家庭的保育事業から小規模保育事業への移行、民間認定こども園1園の定員増等の取組により、保育所等の総定員の増加を図って参ります。

また、民間保育園1園の増築への支援を行い、平成30年度に向けまして、定員の増加を図って参ります。

次に、子育てをしやすい環境づくりといたしまして、新たにスマートフォンを活用した情報発信に取り組んで参りますとともに、公共施設のトイレへのおむつ交換台や乳児チェアの設置に、引き続き取り組んで参ります。また、児童虐待の未然防止対策として、母子保健部門や教育・医療機関などとの連携をより一層強化させるため、体制の充実を図って参ります。

また、ひとり親家庭への支援につきましては、生活の安定を図り自立を支援

する観点から、資格などの取得に対する支援において、対象者の拡大を進めて参ります。

加えて、子育て家庭の経済的な負担を軽減することができるよう、子育て支援医療費の実質無料化を中学校卒業まで拡大し、子育て支援施策の拡充を図って参ります。

#### (教育に関する施策について)

教育に関する施策につきましては、「宇治市教育振興基本計画」の教育理念である「家庭・学校・社会でささえる宇治のひとづくり・まちづくり」を目指した本市独自の教育を進めるため、様々な取組を実施して参ります。

その一つとして、地元大学と連携した取組といたしましては、京都大学宇治キャンパスとは、科学技術に夢と希望を持つ人材の育成を目指したスクール・サイエンス・サポート事業を実施し、理数教育の推進及び理数系教員の力量向上に向けて協働して研究を行って参ります。

また、京都文教大学との「宇治学」推進に関する取組の成果として、小学校3年生、6年生での副読本の活用を開始するとともに、他の学年についても、引き続き、副読本の作成に取り組んで参ります。

さらに、小中一貫教育の充実に向けて、これまでに構築してきた組織を活用した学力向上に関する取組を開始するため、宇治黄檗学園にラーニングコーディネーターを新たに配置するとともに、その他の9つの施設分離型一貫教育校においても、引き続きチーフコーディネーターや教科連携教員、英語指導助手を配置し、それぞれの状況を踏まえた特色ある教育を推進して参ります。

また、家庭・地域の教育力充実のための研究に引き続き取り組み、福祉との連携も一層推進して参ります。

さらに、いじめ等の問題行動をはじめ様々な課題解決に向けた学校の取組を支援するために、他市に先駆けて実施しております「学校支援チーム」の運営体制を充実させつつ、複雑化する学校現場での課題への法的な支援の強化を図ることで、よりきめ細やかな対応を実現し、夢と希望があふれる学校教育を目指すとともに、不登校については、これまで実施してきた不登校対策事業の効果を検証し、今後より効果的な事業のあり方について検討して参ります。

また、児童・生徒にとって安全で、快適に学べる環境を構築するため、引き続き、トイレ・ライフライン改修、体育館非構造部材の耐震化に、順次、取り組んで参ります。

さらに、各教室でもパソコンを活用した学習ができるように、小学校コンピューター教室の機器類を、タブレット型ノート端末に更新するとともに、中学

校給食の実施に向け、給食方式や実施手法等の調査を進めて参ります。

また、公立幼稚園につきましては、宇治市公立幼稚園検討委員会からの提言を踏まえ、質の高い就学前教育を、効果的・効率的に実施できるように検討して参ります。

総合野外活動センターにおきましては、グラウンド・ゴルフ場の第3コースの整備に取り組んで参りますとともに、源氏物語ミュージアムにおきましては、平成30年の開館20周年に向け、施設全体の魅力を向上させ、ここでしかできない体験や新鮮な驚きと発見・感動の機会を創出するリニューアルに取り組んで参ります。

また、魅力ある図書館づくりを進めるため、「(仮称)宇治市図書館事業計画」を策定し、さらなる図書館サービスの充実に努めるとともに、中央図書館において、平成29年4月から開館時間の延長を実施して参ります。

#### (5) 未来の宇治のまちの発展と人口減少社会を見据えた都市基盤整備

「未来の宇治のまちの発展と人口減少社会を見据えた都市基盤整備」に関する施策でございます。

JR奈良線の高速化・複線化第二期事業につきましては、今後とも事業が着実に進むよう関係機関との調整を図るとともに、六地蔵駅の移転・改築や新田駅東側の改札口の新設並びに駅前広場の整備等の関連事業について、整備に向けて取り組んで参ります。また、生活踏切の対策については、引き続き、JR西日本と協議を進めて参ります。

さらに、鉄道駅や周辺道路等のバリアフリー化を推進するため、「宇治市交通バリアフリー全体構想」に基づき、伊勢田駅周辺地区の基本構想の策定に取り組むとともに、JR木幡駅におけるバリアフリー化を実施して参ります。

また、バス路線の再編により、公共交通の利用が困難となりました、明星町・槇島町・西小倉の3地域を対象とする「宇治市のりあい交通事業」につきましては、明星町の本格運行に加え、新たに西小倉でも試験運行を開始するとともに、槇島町についても、引き続き地域の皆様とともに移動手段の確保に取り組んで参ります。加えて、公共交通の体系づくりに向けた検討を行って参ります。

さらに、近鉄小倉駅周辺のまちづくりにつきましては、市民参画の方策や検討委員会の設置に向けた検討を行って参ります。

道路整備につきましては、まちの発展を支える最も基本となります道路ネットワークの強化や交通渋滞の緩和及び防災機能の向上に必要な道路整備に向けて、京都府と連携し、取り組んで参りますとともに、JR奈良線の高速化・

複線化第二期事業との整合を図り、市道菟道志津川線の大鳳寺踏切の改良に向けた取組を進めて参ります。また、誰もが安心して歩ける道路として、京阪宇治国道踏切の改良、通学路の安全対策など、多様な安全対策の取組を推進して参ります。

さらに、道路等の維持管理につきましては、既存ストックの有効活用や防災の観点から、引き続き、橋梁等の長寿命化を計画的に進めて参りますとともに、ライフサイクルコストの低減の考え方のもと、計画的かつ効率的な道路の修繕・更新を進め、安全で快適な道路管理に努めて参ります。

ウトロ地区住環境改善事業につきましては、平成28年度から着手しました公的住宅第1期棟の建設や、西宇治中学校での雨水地下貯留施設の整備を、平成29年度内の完成に向けて取り組みますとともに、引き続き、計画的な事業の進捗に向けまして、国、京都府、本市が連携のもと、取り組んで参ります。

そのほか、都市基盤の基礎データとなる土地の地籍を正確に作成することによる公共事業の円滑化、災害復旧の迅速化、土地取引の円滑化等に資するため、新たに、地籍調査に取り組んで参ります。

次に、上水道につきましては、ライフラインの要として、災害時にも安定した給水を確保するため、「宇治市地域水道ビジョン」に基づき、主要施設である宇治浄水場や、老朽管路の耐震化・更新整備等を推進して参ります。

下水道につきましては、「宇治市公共下水道整備計画」に基づき、引き続き、管渠建設や長寿命化対策を推進するとともに、東宇治浄化センターの改築更新等を実施して参ります。

また、引き続き、経営努力による経費縮減に努め、健全財政の堅持や経営の効率化を図って参ります。

## **(6) 公共施設等アセットマネジメントの推進**

「公共施設等アセットマネジメントの推進」に関する施策でございます。

今後、過去に建設した公共施設等が更新時期を迎えますが、厳しい財政状況や人口減少・少子高齢社会の進展等を踏まえ、利用需要が変化することが見込まれますことから、公共施設等の総合的かつ計画的な管理により、時代と地域社会の実状に即したまちづくりを行うことが重要であります。これまでも公共施設等の計画的な修繕やあり方の検討を進めておりましたが、本市の公共施設等の状況について、市民への周知や情報共有を行い、市民とともに考え、「宇治市公共施設等総合管理計画」を策定し、市民ニーズを把握しながら、その更新・

統廃合・長寿命化など、次の世代にできるだけ負担を残さない公共施設等アセットマネジメントを推進して参ります。

### **(7) 行財政改革の推進**

「行財政改革の推進」に関する施策でございます。

本市の行財政改革につきましては、「宇治市第6次行政改革大綱」並びに「同実施計画」に基づき、行政の簡素化や効率化はもとより、限られた経営資源を最大限活用することで、より一層市民の福祉を増進し、市民満足度を高め、最少の経費で最大の効果をあげられるように取組を進めており、多様化していく市民ニーズへの対応とともに、健全財政を維持するための歳出の抑制と歳入の確保など、将来を見越した行財政運営が今まで以上に求められております。

これらを踏まえ、これまでの右肩上がりの人口や経済成長を前提としたサービス量の拡大だけでなく、「選択と集中」による効率化など、コスト削減に努めるとともに、窓口サービスの来庁者アンケートによる満足度調査の結果も十分踏まえ、市民満足度の高いサービスを提供し続けられるよう、行政経営の品質向上を目指して参ります。

また、平成29年度は、第6次行政改革が最終年度となりますことから、これに掲げた項目の着実な実行に向けて、有料広告事業を活用した市民窓口案内サービスの拡充をはじめ、民間活力の効果的な活用や市民サービスの品質向上をさらに図るなど、積極的に行財政改革に取り組むとともに、これまでの取組の成果・課題を踏まえ、「宇治市第7次行政改革大綱」並びに「同実施計画」の策定に取り組んで参ります。

### **(8) 人口減少に歯止めをかける地方創生の推進**

「人口減少に歯止めをかける地方創生の推進」に関する施策でございます。

「宇治市人口ビジョン」及び「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、独創的な戦略や先駆性・実効性のある具体的な施策に取り組み、人口の流入促進と流出抑制の両側面から、人口減少に歯止めをかけ、少子高齢社会の中においても、持続的に発展するまちを目指して取り組んで参ります。

まず、宇治茶ブランドの魅力をさらに高めるため、日本遺産第1号である「日本茶800年の歴史散歩」を活用し、世界文化遺産登録を目指す取組を強化いたしますとともに、さらなる宇治茶の振興を図る多様な施策を「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき取り組んで参ります。

そのため、市内産宇治茶のブランド化推進の取組として、碾玉の販売プロモーション強化をはじめ、市内産宇治茶の認証制度の構築に向けた検討を進めるとともに、京都府の「お茶の京都」構想の実現に向け、京都府をはじめ京都府南部地域の関係市町村や、それぞれの観光・商工・農林関係団体などと連携しながら、「お茶の京都博」の実施、及び「お茶の京都」DMOの活動に積極的に参画して参ります。また、「お茶の京都」DMOと連携した観光案内所を、京阪宇治駅前に設置するなど、観光をはじめとした宇治茶を活かした様々な施策展開を図って参ります。

さらに、魅力発信につきましては、高校生版魅力発信プラットフォームにおきまして、これらの活動に参加いただいた高校生が、卒業後も宇治の魅力を発信していただけるよう、宇治魅力発信大使を新たに設置いたします。また、大学生主体の魅力発信についても新たに企画して参ります。

次に、宇治川の鶺鴒では、日本初の人工ふ化により誕生したウミウのウツティーも5羽となり、いよいよ「放ち鶺鴒」実現に向けた環境が整いつつありますことから、プロジェクトの支援を継続して参りますとともに、宇治を舞台としたアニメ「響け！ユーフォニアム」など、新たな観光資源を活用した施策に取り組んで参ります。

また、平成32年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた観光誘客のため、海外の旅行雑誌に本市の記事を掲載するなど、様々なプロモーション活動や積極的な情報発信によるインバウンド対策の強化を実施して参りますとともに、宇治市観光振興計画の後期アクションプランの策定を通じて、宇治市観光協会や宇治商工会議所をはじめ、商店街、観光事業者、交通事業者など、観光に携わる様々な関係者と、オール宇治での観光振興に努めて参ります。

そのほか、人口減少の歯止めに向けた取組の一つとして、空き家の有効活用について、調査・研究を行い、実効性のある新たな施策につなげて参ります。

また、創業支援事業計画に基づき、宇治チャレンジスクエアを中心とした取組を進めるとともに、創業支援補助金を創設し、あらたな起業家養成に努めて参ります。

これらの取組をはじめ、「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で示した「確固たる宇治ブランドの確立」、「若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり」などの5つの基本目標に沿って、積極的に取り組んで参ります。

以上が8つの重点的取組に掲げました主な事業でございます。

## 4. 各分野の主要な取組について

次に、各分野の主要な取組についてご説明申し上げます。

### (1) 商工業の振興・地域経済の活性化について

商工業の振興・地域経済の活性化といたしまして、中小企業を支える基礎的な施策である宇治市中小企業低利融資制度を融資利率1.4%で継続いたしますほか、商店街や商工業団体を対象としたイベント事業等への支援を引き続き実施することとし、将来のビジョンを持って活動される商店街を積極的に支援して参ります。

また、宇治商工会議所とより一層連携を深め、市内小規模企業の経営改善事業をはじめ、地域経済の活性化を担う人材育成や商業活力の向上に向けた取組とともに、海外販路開拓のための取組への支援を行って参ります。

さらに、展示会出展支援や中小企業育成支援を実施するほか、既存企業への支援とベンチャー企業の育成を推進するとともに、京都府の企業誘致支援策と連携して、企業誘致を進めて参ります。また、市内中小企業訪問で築いた繋がりを活かし、企業ニーズにマッチした情報提供をはじめ、本市や国、京都府の補助金制度の案内や申請支援、販路開拓や企業マッチング支援など、市内企業を伸ばす支援を充実させて参ります。

これら、宇治の活力バージョンアップを図る様々な施策を基礎に、さらなる本市経済の活性化を目指した産業戦略の策定に向けて、地域産業連関表の分析を進めて参ります。

また、雇用の確保に向けましては、中小企業の人材確保と若者の雇用支援を目的として、市内中小企業合同説明会を引き続き開催するとともに、ハローワーク宇治や宇治商工会議所と共催しております会社説明会の継続開催など、様々な形での雇用対策の充実とあわせて、中小企業振興に努めて参ります。

### (2) お茶と歴史・文化の香るまちづくりについて

お茶と歴史・文化の香るまちづくりといたしまして、宇治橋周辺のまちづくりの方向性を取りまとめた「宇治市歴史的風致維持向上計画」に基づき、史跡宇治川太閤堤跡の整備や重要文化的景観に選定された「宇治の文化的景観」の保存と活用を図るための各種事業を実施して参ります。

さらに、(仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園につきましては、この間の議会からいただいたご意見なども踏まえながら、「秀吉と宇治茶」を中心とした宇治の歴史・文化を伝えるとともに、宇治茶に関する様々な体験ができる観光目的に特



化する方向を軸に検討を進めて参ります。

また、景勝地「宇治」の保全においては、開発が計画されている二子山古墳とその周辺の景観の保全も必要であると考えているため、二子山古墳の史跡指定に加え、周辺山麓部の名勝指定に向けて、引き続き調査を進めて参ります。

### **(3) 地球環境対策の推進について**

地球環境対策の推進といたしまして、温室効果ガス排出量の削減や節減対策のため、市の公共施設の照明のLED化に加え、平成27年度より5か年計画で、市管理の全防犯灯を対象にLED化を進めており、平成29年度も引き続き取り組むなど、環境対策とあわせて維持管理経費の削減を図る中で、「環境にやさしい市役所」を目指して参ります。また、太陽光発電と蓄電設備の同時設置を対象とする家庭向け自立型再生可能エネルギー導入への支援を実施するなど、市民が地球規模の環境問題を一人ひとりの問題として認識し、環境対策に取り組めるよう、市民・事業者との協働による地球温暖化防止対策等を推進して参ります。

### **(4) 人権尊重の社会づくりについて**

人権尊重の社会づくりといたしまして、「宇治市第2次人権教育・啓発推進計画」に基づき、人権尊重を市政の基本とした様々な人権問題の解決に向けた啓発事業や、コミュニティワークうじ館、並びに、こはた館における市民交流を促進する取組を進めるなど、引き続き、積極的に効果的な取組を推進し、市民一人ひとりの尊厳と人権が尊重される社会の実現に努めて参ります。

また、男女共同参画施策につきましては、「第4次UJIあさざりプラン」に基づき、女性の活躍推進やワーク・ライフ・バランスのさらなる促進など、あらゆる分野における男女共同参画や、多様化しているDVへの対応、市民・事業者との一層の協働など、これまで取り組んできた成果を十分に活かしながら、プランで定める目標・指標の達成に向けても、さらに積極的に推進し、男女共同参画社会の実現に努めて参ります。

### **(5) 組織機構の見直しと人材育成について**

組織機構の見直しと人材育成といたしまして、より簡素で効率的な行財政運営の推進や、市民サービスの品質向上等を目指し、さらに民間活力の導入につ

いての検討を加えるなど、引き続き、組織機構の見直しに取り組んで参ります。

具体的な組織機構の見直しとして、子育てファーストの視点で、子育てを切れ目なく総合的に支援し、子育て支援機能の強化を図るため、関係部署において、所管している事務事業の再編・見直しを行うことなどにより、子育て家庭がわかりやすく、利用しやすい、子ども・子育て施策を中心とした組織体制の設置等について検討して参ります。

また、組織機構の見直しとあわせて、次期定員管理計画の策定につきましては、現計画の厳しい達成状況についても十分な検証と分析を行った上で、策定する必要があるものと考えておりますが、国等の新たな制度改革や新規事業等を見据えるとともに、行政に求められる役割等について、中長期的な視野を踏まえた検討を行う中で、新たな定員管理計画を策定して参ります。

一方で、管理職の若年化が進んできたこととあわせて、管理職の育成が喫緊の課題と考えているところであり、今後とも、「組織は人なり」と言われるように、「宇治市職員人材育成基本方針」に基づき、引き続き、職員の意識改革、人材育成に取り組み、組織力の向上を図って参ります。

以上、平成29年度の市政運営に臨みます私の所信の一端と、主要施策の概要につきまして、申し述べさせていただきました。

## 5. おわりに

結びにあたりまして、平成29年度は、第5次総合計画第2期中期計画の最終年度でありますことから、厳しい財政状況ではございますが、只今申し上げました主要施策を着実に実行して参りたいと考えております。

また、繰り返しになりますが、マニフェストにおきまして、市民の皆様にお約束申し上げた「命を守り、人を大切にする施策」の実現に向けまして、積極的に取り組んで参ります。市民満足度や市民サービスの品質を、より高めていくためには、市民最優先で考え、「選択と集中」による事業の実施はもとより、市民の皆様とともに、市が保有する魅力的な資源を活かし、さらに磨きをかけ、子どもから高齢者までの様々な世代の方々が宇治への愛着と誇りを育み、誰もが「住みたい、住んでよかったと魅力を感じるまち」と実感できることが重要であると考えます。

そのためにも、中長期的な視点を持ち、将来の世代に負担を先送りせず、健全財政の維持に努めながら、まちづくりを行う必要があると考えており、市民

ニーズを見極めながら、さらなる経費削減はもとより、歳入確保による財源捻出などに取り組む中で、最少の経費で最大の効果を発揮することに努め、第5次総合計画のまちづくりの目標である「お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治」の実現を目指して参ります。さらに、人口減少社会にあっても、持続的に発展するまちを目指し、本市の特色を十分活かした「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の具体的な施策について、積極的に取り組んで参りたいと考えております。

今後も、宇治のまちの将来をしっかりと見据えながら、市政運営に臨みますとともに、さらに宇治市民の力を結集し、市民参画・協働により「未来に夢と希望の持てる新しい宇治市」を築いていくため、全職員が一丸となって、施策に取り組むとともに、私も、自らその先頭に立ち、渾身の力を傾注し、市政運営にあたって参る所存でございますので、議員各位のなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。